

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：鴨居北こども園	種別：認可保育園	
代表者氏名：中村敦子	定員（利用人数）：120人	
所在地：〒224-0053 横浜市都筑区池辺町3851番地		
TEL：045-932-5056	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/tn/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2011年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 こどもの森		
職員数	常勤職員： 21人 非常勤職員：4人	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 16人	
	栄養士 1人	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室・保福室 2	空調設備、厨房設備、沐浴設備、トイレ
	保育室・遊戯室 3	
	事務室・医務室 1	
	調理室 1	

③理念・基本方針

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもを入れたい園にする ・安全第一 ・保護者や地域の子育て家庭をサポートする ・幼児教育の充実 |
|---|

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>運営法人は株式会社こどもの森です。2011年4月に開園した認可保育所です。最寄り駅はJR横浜線鴨居駅で、鶴見川の橋を渡り、緑幹線道路を北へ歩いて15分ほどのところにある建物の1、2階を使用しています。周辺に様々な工場等があります。</p> <p>園の特徴的な取組として、以下のようなことが挙げられます。</p> <p>保護者にとって、子育てしやすい環境を作っており、保護者が持参するもの（オムツ、コップ、エプロン等）を減らし、手軽に登園できるよう配慮しています。保護者と園とのコミュニケーションを深めるため保育支援システムを導入し、連絡帳に代わるツールとして活用し、子どもの様子を動画で配信したりしています。近隣の出会う人に挨拶したり、ゴミ拾いをしたりして、積極的に交流しています。子どもの安全第一を主眼に、帽子の前後にウレタンを入れて強化しています。男性職員が5人勤務し、力仕事や修繕に力を発揮しています。</p>

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年7月28日（契約日）～ 2022年2月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2013、2016年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○ 全体的な計画に、保護者から寄せられた情報をもとに新しい取り組みを加え、子どもの心身の発達や遊びを豊かにしています【関連評価項目 A-1-(1)-①】 園の保育目標「1.挨拶のできる子。2.あきらめない強い子。3.思いやりのある優しい子。4.心身ともに健康な子。」に基づき、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況、保育時間、地域の実態に応じ、毎年度末に各クラスの1年間を振り返り、次年度の計画を作成しています。養護と教育を一体的に、年齢ごとのねらい、保育内容、配慮事項を織り込んでいます。今年度は 新型コロナ禍のため自粛を求められる中で、保護者との連絡や行事等にウェブ利用を加えたほか、外部講師による「空手」を取り入れ、これまでの英語、体操等とも併せ子どもの心身の発達を豊かにする保育に取り組んでいます。</p> <p>○ 職員の質の向上のため、名刺サイズのメッセージカードを活用しています【関連評価項目 II-2-(3)-①】 運営会社（以下、「本部」という。）の「教育経営計画書」に、職員に対する方針として、職員は常に子ども第一で子どもを守る先生、仕事に対して責任感ある先生、子どもの模範となるような身だしなみに気をつける先生、他職員と共同・チームワークで行動する先生、そして仕事に対し常に創意工夫をこらす先生になる等を掲げています。この方針を実行するため、メッセージカードを活用しています。カードは名刺サイズで、毎月職員が目標とする内容をその表面に記入し、各自のロッカーの見やすいところに貼りつけます。月末に目標通りに行動できたかを振り返って書き込み、園長に提出します。園長は、このカードをもとに職員と個別面談を行い、裏面の記入内容を一緒に振り返り、新たな目標に向けて助言や援助をし、他の悩みの相談にも応えています。</p> <p>○ 新しいコミュニケーションツールで、保護者と細やかに情報を交換しています【関連評価項目 II-3-(1)-①】 園の方針として、園が保護者にとって利用しやすく、子育てを支える存在になることを掲げています。毎月、保護者に「かもきただより」を配付し、各クラスの子どもの日々の過ごし方をはじめ、その月の目標、園の要請、連絡事項のほか、給食だより等の情報を伝えています。こうした情報媒体に加え、保護者とのコミュニケーションツールとして保育支援システムを導入し、連絡帳や個別連絡、登降園管理等の機能を利用しています。今回の利用者調査の結果にも、「保育の様子が写真や動画で見られるのがとても良いと思う。」というコメントが見られました。感染症等の情報も保育支援システムで保護者に伝えています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>○ 保育の実施状況の記録などのパソコン利用や職員間で共有ツールのICT化等の検討が期待されます。【関連評価項目 III-2-(3)-①】 子どもに関する記録は、児童票、児童健康台帳等園で定められた様式によって記録・把握しています。職員の記録内容や書き方は研修で指導しています。事業所内の</p>
--

情報は昼ミーティング・全体ミーティング・ミーティングノート・伝言ノートがあり共有しています。120人の在園児がおり、毎日日誌や伝言ノートを用意しています。一人一人の子どもをの状態をノートやミーティングで確認するにはかなりの時間や労力が必要と思われます。記録の簡素化、瞬時に情報を共有するツールなどの利用が期待されます。

○ 園の経営や運営上の課題を検討し、中・長期計画の作成が期待されます【関連評価項目 I-3-(1)-①】

2021年度から2030年度までの10か年計画を作成しています。計画には、全職員が「愛情深い先生」となるための主任・副主任・リーダー・職員それぞれの行動指針と、職員の3年後、5年後、10年後の目標を明示しています。この計画は、各階層の職員が目指してほしい人材像、職員の長期的な展望（キャリアパス）を示しています。保育園の経営や運営面から人材の確保・育成のほか、長期的な時間の経過に伴う消耗や劣化が想定される機材や設備、さらには保護者の利便性を高める投資や保育に付随する業務の効率化、職員の負担軽減を図るDX投資等を、何時の時点で改修、更新、導入するかの計画が必要ではないか、今後の検討が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

定員 120 名の大規模な園です。「自分のこどもを入りたい園」にする、「保育園は第 2 のお家」を理念とし、子ども・保護者・職員が日々毎日楽しく園に通えることを目標に、園作りをしています。

場所は決して恵まれていませんが、大きな声を出してもご近所迷惑にはならず、近隣の会社とも協力して子ども達の成長を見守っています。

乳児期は人生の基礎となる様々な体験をし、幼児期になると体操・空手・英語・ダンスなど非認知能力を育て、個々の成長に寄り添いながら保育をしています。

日々の保護者の方とのやり取りを通して、子育てに悩む保護者の気持ちを汲み取り、サポートしていきたいと考えています。

今回のご意見、ご要望を今後の園運営に生かし、日々精進してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり